

Masaaki Sogo

十河 正明

株式会社Re-fa 常務取締役



動く椅子張り工場のコンダクター

椅子張りに関して現場での豊富な経験に基づく「現場調査・デザイン・製作方法決定・製品完成」に至る一連の製造過程の管理や、図面が無い場合でも実物大の展開図をおこすなど、高度な技能を持つ。技能検定受験のためのカリキュラム作成・サポートに取り組むなど、後継者の育成に尽力している。



ものづくりは伝言ゲーム、コンダクターが活躍する

十河さんの仕事は椅子張り作業をメインとしない。クライアントのイメージを具現化するために、製造過程を想定して最適な方法を選び、全体を管理、指示しながら完成に導いていく。

現場作業も多く、分業で成り立つ仕事は伝言ゲームと同じ。要望を正しく読み取って次へ伝えないと喜ばれる製品にはならない。

十河さんは、ご自分の役割をパイプ役と言われるが、製作の総指揮をとる立派なコンダクターだ。



発注から完成までの工程管理表を前に説明する十河さん。

が頭をもたげやりとげてきた。

ものづくりへの関わり方はいくらでもあると教えられる。

指導者として校長も務める

工場見学やインターンシップ、ワークショップなどを社内外で行い、小中学生から社会人まで年齢を問わずものづくりの楽しさを伝えている。また、大阪府の認定職業訓練施設であるRe-faアカデミーの校長として、一人一人の上達目標に合わせた指導と技能資格取得のフォローもしている。若者に対し「自分らしさを持って挑戦してほしい」と願う十河さんだからこそできることだ。

新技術の導入で生産体制を拡充する

生地を裁断する作業は、腰や肩に負担がかかる。十河さんは、職人が少しでも長く働ける環境づくりをめざし、自動裁断機を導入するなど作業環境の改善にも尽力している。



自動裁断機の導入で、作業が随分と楽になった。



工場のタッカー（ステープラー）のリズム音が心地いい。

不器用であきっぽいアマノジャク

不器用であきっぽくアマノジャク。十河さんの自己分析から出た言葉。

ものづくりに憧れたけれど、工作が苦手であきらめていた。ものづくりへの気持ちをおさえられず、今の仕事へ。あきっぽい性格なのに、常にオリジナルを求められるうえ、現場で何が起こるか分からないとなれば、仕事にあきる暇もない。未経験でも、敬遠される無理難題でも「人間の頭にあることはできる」と固定観念にとらわれず、「まずはチャレンジ」とアマノジャク魂



図面が無くても実物大の展開図を作成、イメージを確認する。

エコ・SDGsの観点から

椅子張りの製造過程で出てしまう端切れ(オチ)を利用した椅子を製作するなど、「もったいない心を次の世代へ」という思いのもと、SDGs(持続可能な開発目標)を視野に入れて、様々な分野の人とパートナーを組み、斬新な試みにチャレンジしている。

所属企業 株式会社Re-fa
〒557-0061 大阪市西成区北津守4丁目4-19 TEL: 06-6568-4113 FAX: 06-6561-6070
HP: <http://re-fa.co.jp/>



大阪テクノマスターとは…大阪市内のものづくり企業で活躍する“ものづくり”のスペシャリスト。

問合せ先 ▶ 大阪市 経済戦略局産業振興部産業振興課 〒559-0034 大阪市住之江区南港北2-1-10 ATCビル オズ棟南館4階 TEL: 06-6615-3761 FAX: 06-6614-0190